

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		外国語指導助手配置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	安武 祐次
	施策	20	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	橋村 綾子
	基本事業	60	学力の向上			所属班	総務施設班	(内線)	2213
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 1	事業連番 11595	法令根拠	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	3名の外国人英語指導助手を市内3中学校に配置し、生徒の英語力の向上及び国際感覚を育む。また、市内7小学校へも月1回程度派遣し、児童の英語への興味を抱かせることにも活用する。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①毎年4月に随意契約により業務委託契約を締結→②受託者から派遣された英語指導助手により英語指導→③毎月、指導方針等のミーティング→④出勤簿の提出→⑤毎月の委託料の支払い ※業者選定については、3年ごとを目処に総合評価方式により決定する。
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	外国語指導助手(ALT)3名を市内3中学校に派遣し、英語授業の助手として活用した。加えて、市小学校へも月1回程度派遣し、英語指導に活用した。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
外国語指導助手(ALT)3名を市内3中学校に派遣し、英語授業の助手として活用した。加えて、市小学校へも月1回程度派遣し、英語指導に活用した。		外国語指導助手(ALT)3名を市内3中学校に派遣し、英語授業の助手として活用した。加えて、市小学校へも月1回程度派遣し、英語指導に活用した。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) ア:中学校での指導時間 イ:小学校での指導時間	予算の主な増減の理由 消費税増税による委託料の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市内中学校に通う中学生及び小学生	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア:市内中学校に通う中学生数 イ:市内小学校に通う小学生数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	外国のことや英語への興味を持ってもらい英語力の向上につなげる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア:抽出した生徒のうち英語が好きになったと答えた者の割合 % イ:抽出した児童のうち英語が好きになったと答えた者の割合 %
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
英語への興味を持ってもらう事が、英語力の向上になり、結果学力が身につくことによるため		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
① 活動指標	ア 時間		0	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
	イ 時間		0	250	250	250	250	250	250	250	
② 対象指標	ア 人		0	1,837	1,744	1,878	1,744	1,744	1,744	1,744	
	イ 人		0	4,219	4,105	0	4,105	4,105	4,105	4,105	
③ 成果指標	ア %		0	72	85	72	85	85	85	85	
	イ %		0	87	75	85	75	75	75	75	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円		12,783	13,231	13,143	13,231	13,000	13,000	13,000
		(A) 事業費計	千円	0	12,783	13,231	13,143	13,231	13,000	13,000	13,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	32	0	31	111	31	31	31	31
トータルコスト(A)+(B)	千円	32	12,783	13,262	13,254	13,262	13,031	13,031	13,031		

事務事業名	外国語指導助手配置事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 成果指標については、外国のことや英語へ興味を持つことが、英語力の向上に繋がるため目標を達成させたい。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今後更に委託業者（3名のALT）と小・中学校教諭との連携により、成果指標値を生徒で85%以上に上げたい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の事務事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費としては市内3中学校にALTを各1人ずつ配置することと、空いた時間には7小学校への英語指導もしているの、成果を落とさずに事業費を削減することは難しい。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 業務については委託しており、担当職員についても最小人員で対応していることから、これ以上の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市内全校を対象に実施しているの、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 義務教育課程である中学校の授業なので、市が関与することは妥当である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

事務事業としては現在の内容で単年度繰り返し継続していくものとするが、更に英語に興味を持たせる新たな取り組みとして、25年度はスピーチコンテスト開催を計画している。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						